



## 工夫にチャレンジ

前号がちょっと字数不足になってしまい、最後の方に内容をつめ込んでしまったので、ここで復習と補足を。

\*

前号は、「時間が足りない」「眠い」というほとんどの人が抱えている悩みに対して、

- ①睡眠時間は削れない。
- ②では、とりあえず、土・日を活用。
- ③週日の夜を生かすには、眠たくて捗らない勉強をするのではなく、仮眠をとるのも有効。ただし、強力な「目覚まし（機械or人間…笑）」が必要になる。
- ④早寝早起きもある。
- ⑤時間を計画的・有効に活用する方法は、やることを「量」で計画するのではなく、「時間」で計画することである。
- ⑥日常の予・復習は、「最後までやり遂げる」ではなく、「やれた範囲はとりあえずOK」といったスタンスでイイのではないかと。…といったことを縷々ご説明申し上げたわけである。

繰り返すが、根本的な解決方法はないのだから、ベターな方法を模索することと、家族を含め、いろいろな人に協力してもらわなければならないことも認識すべきだろう。

\*

### ⑦通学時間の活用

というのもある。座れない場合は、逆に眠れないということでもあるから、帰りは疲れているかもしれないが、ここをうまく活用することも大切だろう。多くの人が英単語・古文単語などに使っているようだが、英単語や古文単語は「すき間時間」を活用するのにちょうどイイわけだから、逆にもっと効果的なす

き間時間はないかを考えてみて、電車の中では何か別のことにチャレンジしてみるのもイイのではないだろうか。

例えば、理・社の考查結果が思わしくなかった人は、通学時間帯に、その日に授業でやる範囲の教科書を読むようにしてみる（つまり、ごく簡単な予習を試してみる）とか、帰りの電車の中で、その日解いた数学の問題を見ながら、解き方の方針や使った考え方・公式などを思い出してみる（つまり、ごく簡単な復習を試してみる）とか、そういうことである。もちろん、例えば数学なら、鉛筆をもって紙に書くのが本当の復習だろうが、やり方をちょっと思い出しておくだけでも、家に帰ってからやるサクシードの宿題が捗ったりするかも知れないではないか。

\*

ということで、いろいろ工夫してみてほしい。工夫したり、色々な勉強法を試したりできるのは1・2年生のうちだからである。いざ、受験勉強を始める3年生になってから色々工夫しているようではちょっと遅い。工夫する中で自分にあった勉強法を見つけ、それを3年生になった時の受験勉強に結びつけることが大切なのである。

日比谷生が受験に強いのは、やはりこの忙しい1～2年生の時期があるからであろう。その中で、悩んだり困ったりしながら、それでもなんとかそこを自分なりに乗り越えてきた経験が、プレッシャーとの戦いでもある受験に於いて大きくものを言うのである。そしてその時、友だちや家族も君たちの横にいてくれるのである。